

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスTetoTe		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な専門職が多数在籍している。	多職種連携によって、子ども一人ひとりの発達状況や課題を多角的に検討しながら、それぞれの発達段階に適した支援が行えるようにしている。	定期的な内部研修や外部セミナーへ参加することで、職員全体の専門性を継続的に向上させる。
2	太田ステージ・PVT-r・OT評価の結果をもとに、具体的な支援目標を設定している。	子ども一人ひとりの発達レベルや課題を明確にすることで、それぞれに適した個別プログラムを作成している。	現場での成功事例や課題を共有するカンファレンスを実施し、支援の質の向上に繋げている。
3	子どもの全体的な成長を支援するため、5領域(言語・コミュニケーション、人間関係・社会性、運動・感覚、認知・行動、健康・生活)に着目したプログラムを行っている。	各曜日ごとに5領域に沿ったテーマを設定し、専門職が活動を計画的に実施している。	活動後に振り返りの会議を行い、実施内容と反応を共有することで、次回以降のプログラム改善や調整を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が十分とはいえない。	地域内の他施設との連携が十分に構築されておらず、情報交換や共同イベントの機会が限られている。	地域連携を担当する職員を配置し、情報収集を行う。事業所の活動内容を、SNS等で積極的に発信していく。
2	家族向けの研修会やペアレントトレーニングが十分に実施できていない。	家族向け研修会やペアレントトレーニングを実施するための専門スタッフや、時間、体制が十分に確保できていない。	スタッフの研修や外部セミナーへの参加を促進し、家族支援に関する専門知識やスキルを向上させる。
3	療育スペースがやや狭く、活動が制限されることもある。	利用者数の増加に伴い、十分な活動スペースを確保できず、グループ活動等に制限が出ている。	同じスペースを複数の目的で使用できるように、時間帯ごとに分けてプログラムを組み替える。